（添付ファイル　第8号様式）

平成27年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況 採択年 〜 目標年	事業進捗状況 総事業費 工事費 用地費	事業進捗状況 進捗率 進捗率 進捗率	事業進捗状況 事業進捗内容	事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
道路事業	2	一般国道477号西浦BP	四日市市	②	【全体事業概要】 延長L=460m 幅員W=6.0(7.5)m 除去踏切　1箇所 主要構造物 函渠　1基 【事業目的】 安全で円滑な交通の確保を図り、関連する事業と一体的に整備を行う。	H18 〜 H29	1,917 1,036 881	94.0% 90.0% 100.0%	整備済延長 L=460m うち暫定供用延長 L=460m	事業箇所周辺には市街地が形成されており、区画整理事業等によって土地利用の高度化が見込まれ、引き続き人口集積が予想されます。 四日市市の総人口は微減であるものの、市街地については増加傾向にあることから、依然として事業の必要性は高いものと考えます。	【費用対効果分析】 B/C=2.0 【コスト縮減】 ・仮線軌道設備について、近鉄沿線の老朽化した線路の復旧に再利用すること、また他事業と一体的に整備することによってコスト縮減を図っていきます。 【代替案】 事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません	平成29年度の完成に向けて事業を推進します。

注：再評価理由
①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
③再評価実施後一定期間が経過している事業
④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

（添付ファイル　第8号様式）

平成27年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況 採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費 工事費 用地費	事業進捗状況 進捗率 進捗率 進捗率	事業進捗状況 事業進捗内容	事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
道路事業	4	一般国道368号仁柿峠バイパス	松阪市	③	【全体事業概要】 延長L=3,920m 幅員W=5.5(7.0)m 主要構造物 トンネル　1本 橋梁　9橋 【事業目的】 幅員狭小や線形不良の区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、事前通行規制の解消を図ります。	H2 ～ H36	12,200 11,850 350	43.0% 42.0% 74.0%	整備済延長 L=1,930m うち供用延長 L=380m	伊賀地域と中勢地域を最短で結ぶ道路であり、緊急輸送道路の指定を受けていることなどから、当該事業の必要性に変化はありません。	【費用対効果分析】 B/C=1.1 【コスト縮減】 耐候性鋼材の使用による維持管理コストの縮減を図っています。 また、法面に防草対策により持管理コストの縮減を図っています。 【代替案】 平成17年度再評価時に実施した計画変更において、ルートの比較選定を実施したうえで決定したものであることから、これに対する代替案はありません。	平成36年度の全線供用に向け事業を推進します。

注：再評価理由
①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
③再評価実施後一定期間が経過している事業
④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

平成27年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年度 ～ 目標年度	事業進捗状況 総事業費 うち工事費 用地費	事業進捗状況 進捗率 進捗率 進捗率	事業進捗状況 事業進捗内容	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討　等	今後の事業の見通し
河川事業	10	二級河川相川　広域河川改修事業	津市	③	【全体事業概要】 全体事業費8,937百万円 計画延長 （相川）　L=5,500m （天神川）　L=800m ・築堤工　L=　3.4千m ・掘削工　V=167千m3 ・護岸工　L=　8.3千m ・橋梁　27橋 ・堰　6基 ・樋門・樋管　27基 ・用地補償　1式 【事業目的】 相川・天神川沿川の浸水被害防止を目的とし、河道改修を実施することにより計画流量に対する流下能力を確保し、治水安全度の向上を図ります。	H22 ～ H51	8,937 6,605 2,332	10% 14% 0.3%	【実施事業内容】 ・築堤工L=386m ・護岸工L=441m ・用地補償　1式 【以降事業内容】 ・築堤工L=　3,014m ・掘削工V=167,655m3 ・護岸工L=　7,859m ・樋門・樋管　27基 ・橋梁　27橋 ・堰　6基 ・用地補償　1式	（周辺環境の変化） 中・下流部は、JR線、近鉄線や国道23号、中勢バイパス、国道165号沿道を中心に市街地が形成され、引き続き流域内の土地利用の高度化が予想されます。 津市の総人口は、整備計画を策定した平成22年に比べると微増しており、流域周辺についても増加傾向にあります。	①B/C＝25.0 資産データなどを最新のものに更新した結果、想定氾濫区域内の事業所数や延床面積等の資産評価額等が増加したことにより、被害額が大きくなった結果、費用便益比が大きくなったと考えられます。 ②河床掘削等による発生土を築堤工事に有効利用し、建設副産物の発生抑制に努めています。更に、護岸材料、工法を選定する際は、新技術等の情報収集を行いコスト縮減に努めています。 ③流域内の開発が進んでいる中で、遊水地・調節池として、新たに広大な用地を取得することや、補償することは困難であるとともに、放水路案については、鉄道、幹線道路等を横断することから、施工時に公共交通の運行等に影響が生じることが考えられるため、現在の河道改修による計画が妥当と考えています。	治水安全度の向上のため、継続して事業の推進を図ります。 平成51年度の完成を目標として、上流部の整備を予定しています。

注：再評価理由
①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
③再評価実施後一定期間が経過している事業
④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

（添付ファイル　第8号様式）

平成27年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

<table>
<tr><th rowspan="4">事業名</th><th rowspan="4">番号</th><th rowspan="4">箇所名</th><th rowspan="4">市町名</th><th rowspan="4">再評価の理由</th><th rowspan="4">全体事業概要と目的</th><th colspan="4">事業進捗状況</th><th rowspan="4">事業を巡る社会経済情勢等の動向</th><th rowspan="4">費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討　等</th><th rowspan="4">今後の事業の見通し</th></tr>
<tr><th rowspan="3">採択年
～
目標年</th><th>総事業費</th><th>進捗率</th><th rowspan="3">事業進捗内容</th></tr>
<tr><th>工事費</th><th>進捗率</th></tr>
<tr><th>用地費</th><th>進捗率</th></tr>
<tr><td rowspan="3">街路事業</td><td rowspan="3">11</td><td rowspan="3">近鉄名古屋線川原町駅付近（連続立体交差）</td><td rowspan="3">四日市市</td><td rowspan="3">②</td><td rowspan="2">【全体事業概要】
延長　L=680m
除去踏切　N=4箇所</td><td rowspan="3">H18
～
H29</td><td>10,565</td><td>76.0%</td><td rowspan="3">① 平成26年度末の事業進捗率は76%（工事74%、用地100%）となっています。
② これまでに(都)四日市関ヶ原線を供用（近鉄仮線による高さ制限あり）し、1箇所の踏切を除去しました。
③ 鉄道については平成26年度に下り線を高架線に切り替え済みであり、現在上り線の高架化を推進中です。</td><td rowspan="3">事業箇所周辺には市街地が形成されており、区画整理事業等によって土地利用の高度化が見込まれ、引き続き人口集積が予想されます。
四日市市の総人口は微減であるものの、市街地については増加傾向にあることから、依然として事業の必要性は高いものと考えます。</td><td rowspan="3">【費用対便益分析】
B/C=1.5
【コスト縮減】
・高架橋の施工方法を「単線分割施工方式」から「複線一括施工方式」に見直すことにより、高架橋の断面、鉄筋量を少なくし、コスト縮減を図ります。
・高架線への切り換えによって不要となった仮線マクラギやレール等の軌道設備について、近鉄沿線の老朽化した線路の復旧に再利用することによってコスト縮減を図ります。
・街路事業による鉄道高架化、道路事業によるバイパス整備、河川事業による橋梁改築等を一体的に整備することによって総合的なコスト縮減を図っていきます。
【代替案】
事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。</td><td rowspan="3">上り線が高架線に切り替わることによって残り3箇所の踏切を除去し、その後側道、公園等の復旧を行い平成29年度末に事業完了する予定です。</td></tr>
<tr><td>9,927</td><td>74.0%</td></tr>
<tr><td>【事業目的】
踏切を除去し、道路を整備することによって自動車交通の円滑化を図り、安全な交通機能を確保するとともに、「国道477号西浦バイパス道路改築事業」、「二級河川三滝川河川改修事業」を一体的に整備し、鉄道を高架化することによって総合的なまちづくりを行っていきます。</td><td>638</td><td>100.0%</td></tr>
</table>

注：再評価理由
①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
③再評価実施後一定期間が経過している事業
④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

（添付ファイル　第9号様式）

平成27年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度 当初／最終	総事業費 当初／最終	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
砂防事業	505	庵座谷川	菰野町	【全体事業概要】 全体事業費：568百万円 ・堰堤工：2基 【事業目的】 土石流による災害から人家や道路等を保全することを目的として、砂防事業を実施した。	H13	H22 H22	450 568	①事業完了後、土石流による人家や道路等への被害はなく、保全されている。 ②費用対効果 B／C＝1.1　＞1.0 ③その他の効果 ・山地森林被害抑止効果 ・交通途絶による機会損失の防止（県道朝明渓谷線） ・波及的効果	・現地の発生材を利用して、堰堤下流の流路工や護岸（巨石積）を施工した。	・朝明川上流域には朝明渓谷、朝明キャンプ場があり、日帰りも宿泊も可能な人気のレジャー施設となっている。近年のアウトドア志向の高まりにより、鈴鹿国定公園に位置し豊かな自然を持つこの地域の人気、価値はますます高まっている。	流域の施設利用者を対象にアンケートした結果、 ・60%が朝明渓谷が土石流危険渓流であることを知らなかった。 ・62%が砂防堰堤の工事により安心感が向上したと評価しているが、19%が安心感が向上されていないと評価しており、その理由として「工事の効果が分かりにくい」という意見が多かった。 ・64%が砂防事業の今後にのあり方について、ハード対策とソフト対策を並行して進めるべきであると考えている。	・危険箇所等がわからないとの意見があることから、ソフト対策として、市町の防災対策部局、観光施設管理者とも連携し、地元住民だけでなく来訪者にも危険箇所の把握や避難態勢を円滑に行えるように支援していくことも重要であると考えられる。 ・事業実施の際に実施状況や事業効果についても広く周知を図る工夫をしていく必要があると考えられる。